

# 中学と高校で何が違う？

## 高校入学前の心構えと春休み期間の過ごし方

高校入試を終え、この4月からいよいよ高校生となる新高1生のみなさん！ 勉強のことはしばし忘れて羽を伸ばしたいところですが、みなさんが高校生活を楽しく、充実したものにできるかどうかは、この春休みの過ごし方が大きく影響してきます。そこで高校での学習に関する基礎知識と入学直後から優位に高校生活を進めるための、春休みの過ごし方を伝授したいと思います。

### 1. 横一線からのスタート

さまざまな学力の生徒が集まっていた中学とは違い、高校では近隣の中学から、ほぼ同じ実力の生徒が集まることとなります。つまり4月の時点で実力に大差はなく、横一線からのスタートというわけです。

「中学時代に上位をキープしていたから、高校でもうまくやれるはず」と安易に考えていると、校内順位が下位に低迷してしまう可能性も多いにあります。油断は禁物！

### 2. 授業内容が大幅にレベルアップ

高校での授業は、中学時代より大幅にレベルアップします。受験科目となる5教科すべてにおいて、大学入試の日程までに広範な内容を終えなければならないため、最初の授業からどんどん進み、その難易度も中学とは比較にならないほど高くなります。

当然、一度の説明だけではわからないことが出てくるので、塾などを有効利用して、繰り返し説明を受けることが大事です。

### 3. 大学現役合格のハードルは高い

大学入試は、高校入試と比較して、その競争はし烈を極めます。

	高校入試	大学入試
ライバル	近隣の中3生のみ	全国の高3生(中高一貫校生を含む)+浪人生
受験倍率	〔公立高〕1~2倍 〔私立高〕2~4倍	5~10倍(医学部などでは20倍の大学も)
出題内容	基礎的な授業内容	広範な授業内容+志望校ごとに異なる難易度の高い内容

県立(または都立)高校の入試では近隣、私立でも首都圏の中学生間での競争だったのに対し、大学受験では全国の高校生との戦いになります。それに加え、1年間先の勉強を進めてきた中高一貫校組、高校3年間にプラスして、1年間受験勉強に専念してきた浪人生が参入してくることを考えると、

そのハードルの高さは明白です。

受験倍率をみても、大学入試では5倍前後の大学が多く、人気大学では10倍を超えることも珍しくありません。

さらに出題される内容は、高校の授業内容に加えて、より広範で難易度が高いものが問われることとなります。

これらの事実を早くから認識し、学習に取り組むこと。そして、いつでも相談できる受験のプロを味方につけておくことが重要なのです。

### 4. 高1の成績も大学入試に大きく影響

推薦入試についても、高校入試と大学入試では大きく異なります。

大学入試では、指定校推薦や公募推薦にAO入試(※注)が加わり、全体の4割以上の人がこれらの推薦入試を利用して大学へ進学しているのです。

その推薦入試の出願条件となるのが、高1の1学期(前期)から高3の1学期(前期)までの「評定平均」です。

その評定を決める定期テストは、3学期制の高校で全12回(2学期制は全10回)実施され、そのうちの5回(2学期制は4回)は高1の間に受けるもの。つまり高1の成績が評定平均の約4割を占めていることとなります。

利用できる入試方式が増えれば、それだけチャンスが広がります。高2、高3になってから悔やむことがないように、受験は高1、最初の定期テストからスタートすることを肝に銘じておきましょう。

※AO入試……志願者の人物評価と大学側が求める人物像とが一致するかに主眼が置かれた選考方法。主に自己PR書などの書類と面接で合否が判定されます。

評定平均と利用できる入試制度の例									
	評定平均					利用できる入試制度			
	1年	2年	3年	3年の平均		指定校推薦	公募推薦	AO入試	一般入試
A君→	4.3	4.1	4.5	4.3	→	○	○	○	○
B君→	3.9	3.7	4.1	3.9	→	×	○	○	○
C君→	3.2	3.0	3.4	3.2	→	×	×	○	○

## 5. 中高一貫組&内部進学者は安泰?

中高一貫組は高校受験がなかった分、高校受験組と比べて学習進度が速くなります。高2までに高校で習う内容を終え、高3からは受験対策の学習をスタートできる利点がありますが、必ずしも有利とはいいきれません。

高校受験組は高校入試前に、中学までの内容を追い込んで復習したのに対し、中高一貫組は中だるみになりがちに。復習が不完全のまま授業が進んでしまう危険もあります。そのほか大学附属校組も注意。内部進学できる可能性は高いのですが、実際に行きたい学部・学科に進めるかどうかは、校内成績次第だということを忘れてはなりません。

### ● 春休みの過ごし方 ●

高校生活はスタートダッシュが肝心！ 成功のカギは春休み中の予習にあり！

これから始まる高校3年間で大きく左右する重要なポイントとなるのが、高校最初の定期テスト。ここで上位の成績を残し、良いスタートを切ることができれば、大きな手ごたえと自信を得て波に乗ることができます。そのために、この春休み期間を使って取り組みたいのが、高校内容の予習です。例えば中間テストまでの範囲の英語の全訳を作ってしまうと、入学後、余裕を持って授業に臨め、常に優位に立って学習を進めることができます。逆に春休み中、予習に手をつけずそのまま高校生活に突入すると、学校行事が多く落ち着かない雰囲気の中、予習復習や大量の宿題、忙しい部活動に追われ、勉強のペースをつかめないままズルズルと進んでしまう危険もあります。春休みは、充実した3年間と志望校現役合格のための第1歩！ 定期テストを目標に予習を進めましょう！

## まとめ

ここまで説明したように、高校での勉強は進度・難易度ともに大幅にレベルアップします。まずは、この春休みに予習を進め、最初の定期テストで上位に入ることを目標にしてください。そのように何事においても先を読んでいち早く準備し、圧倒的優位に立って物事を進める経験は、高校3年間の生活だけでなく、大学受験、さらには人生の成功にもつながることになります。まずは春休みの2週間、武者修行のつもりで勉強に取り組んでみましょう！

株式会社 栄光発行「DUE! Vol.021 2009年3月号」より